

● 調査レポート

埼玉県内主要産業動向調査(産業天気図)

- 2009年7~9月期 -

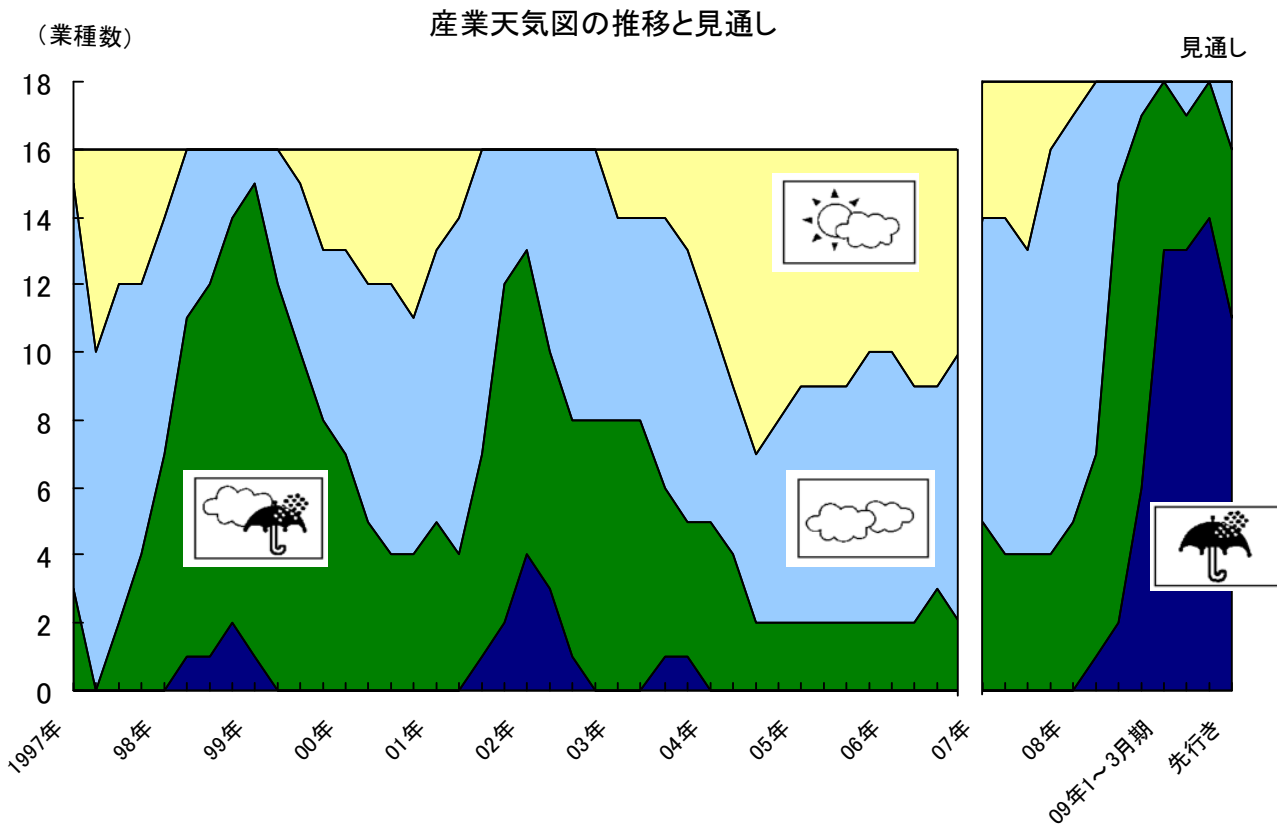
調査対象企業：県内企業 991 社  
 回答企業：277 社(回答率 28.0%)

調査方法：アンケート方式を中心  
 業種別内訳：製造業 160 社 非製造業 117 社

概況

今回の産業天気図は、前回同様「雨」の業種が3分の2以上を占める本降りとなっている。  
 前回から今回にかけての天気模様の変化は、18業種中「雨」が13→14に増え、「曇り一部雨」が4→4と同数、「曇り」が1→0と減っている。  
 業種別にみると、製造業では、総じて厳しい状況が続いている。飲・食料品は、需要はあるが価格の低下などから「曇り」から「曇り一部雨」へ後退した。一方、金属製品は、受注先在庫の減少から注文の回復が見られ「雨」から「曇り一部雨」と持ち直した。  
 非製造業でも、厳しい状況は続いている。その他非製造業は、受注先の厳しい業況により「曇り一部雨」から「雨」と業況が悪化し、建設は、民間工事の受注競争の激化などから今回も「雨」と変わらなかった。  
 今回から先行きにかけての天気模様は、総じて現状の厳しさが続くものと見られるが、「雨」の業種が減るなど、持ち直す見通しとなっている。18業種中「雨」が14→11、「曇り一部雨」が4→6、「曇り」が0→1となり、雨降り模様が弱まる見通しである。

(注1) 「現状」とは2009年7~9月期、「先行き」とは2009年10~12月期の見通しである。  
 (注2) 2007年1~3月期調査より調査対象業種数は16→18となった。従って、産業天気図においては、2006年10~12月期と2007年1~3月期とで連続していない。



(注3) 天気の評価は、2007年1~3月期調査より企業経営動向調査の業種別BSIを基本とし、☀(晴)、☁(晴一部曇)、☁(曇)、☁(曇一部雨)、☔(雨)の5段階で表現している。